

## 令和2年度 広聴事業

# ひらめき提案箱への回答

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、本年度の広聴事業は、「ひらめき提案箱」により市民の皆さんからご提案をいただくこととなりました。たくさんのご提案をありがとうございました。主なご提案の概要とそれに対する回答を掲載します。



### ▼まちづくり・地域づくり

「財産区」を有する地区の地区センターで、「財政調整基金(現金+有価証券等)」が1億円以上ある場合は不交付団体にすればどうか。また、不交付による残額は、残りの地区センターへ公平に分配すればどうか。

↓従来の「公民館運営費負担金」と「公民館活動支援補助金」を本年度から「地区センター運営交付金」として各地区へ配分しています。現在のところ、地区センター運営交付金は、次年度も交付要綱に基づき、各地区で活用していただくよう考えております。なお、地区センター運営交付金制度以上の交付はできません。仮に残額が発生したとしても公費を分配することはありません。

―地区センターの在り方が不明。組織を明確にしたらどうか。

↓地区センターは、今までの公民館活動を維持しつつ、地域のあらゆる活動の場として地域住民の皆さんが利用できる施設です。各地区に運営協議会も組織されました。これは、地区センター運営協議会条例に基づく任意団体となります。この団体は地域の実情に合わせて、各地区の役員が中心となり、構成メンバーを検討して設立したものです。今後、協議会が中心となり、地区センターを拠点として地域振興のためのさまざまな事業を展開していく予定です。

―住民の方々に積極的に声を掛け、地域と触れ合いながら元気に走る。途中何か発見したら通報するなど、

地域をランニングして見回り、安全で暮らしやすい街にする取り組みをしたらどうか。

↓市では、市職員と民間の協力により青色防犯パトロールによる防犯活動を実施しています。市民一人一人の目が犯罪などを未然に抑止する力になると考えております。

―過去のタウンミーティングの進捗をホームページで公開したらどうか。

↓市民の皆さまからのご意見やご提案を受け、市政へ反映できるよう鋭意努めております。広聴事業においては、確実に実行することをお約束するものではありません。関連法や予算、事業の優先順位、交渉などもあり解決できるものばかりではないことをご理解ください。

―公民館が地区センター化し、地区運営協議会も設置され、地域コミュニティ拠点づくり体制が敷かれた。行政にも地域対応窓口を一本化した専門部署を設けたらどうか。

↓組織に関わる問題となりますので課題を整理し、先進事例を参考に検討してまいります。

―空き家を活用した、老若男女が交流できる場を提案する。

↓現在、空き家売りたい・貸したい所有者と空き家を活用したい人を繋げる仕組みを検討しています。空き家には、地域のコミュニティスペースやまちカフェ、集会場、移住体験用住宅などさまざまな活用方法がありますので、他市町の成功事例を参考に検討してまいります。